

令和 8 年飯田市議会第 3 回定例会 一般質問通告表

令和 8 年 9 月 9 日、10 日

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
1	宮 脇 邦 彦 (公 明 党) 【 40 分 】	1 災害に対する人的受援計画の策定とその実効性について (1) 災害時における応援職員の受入れ体制は ① 当市が締結している災害時相互応援協定は何件あり、どのような締結内容か ② 協定には人的支援は含まれているか ③ 当市における「受援計画」の目的と位置づけは ④ 受援計画に盛り込む主な内容は何か、更に所管する担当部署は ⑤ 市の受援計画は担当部署だけでなく、応援を必要とする各部局が参加して作成したものか ⑥ 令和 8 年熊本地震を受け、当市の受援計画をあらためて点検する考えは ア 計画の職員への周知と計画に基づく訓練の持ち方は ⑦ 市として発災時を想定し、災害業務ごとの人員不足を算定する方法はあるか ⑧ 大規模災害を想定し、業務量が急増する業務を具体的に整理しているか ⑨ 災害時に人的応援が必要であると判断する責任者は誰か。また、各業務担当部局の役割は明確になっているか ⑩ 県、その他自治体、また応急対策職員派遣制度など人的支援を求めるルートの整理は ⑪ 応援職員の受入れを統括する体制と指揮命令の方法は整備されているか ⑫ 災害時相互応援協定済み自治体との情報伝達訓練や応援職員受け入れ訓練への考えは ア 訓練や実際の災害対応で明らかになった課題を受援計画へ反映する仕組みはあるか ⑬ 今後の人的受援のあり方について、市長の考えは
2	森 本 紘 司 (新 政 い い だ) 【 50 分 】	1 第45回飯田りんごんについて (1) 市長の所感は

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	森 本 紘 司 (新政いいだ) 【 50 分 】	(2) 資源ごみを回収するエコステーション設置の考えは 2 アクアパーク I I D Aについて (1) 入場券を購入するまでの待ち時間を短縮する改善を行う考えは (2) 場内の設備について ① プール中央にある時計の修繕は ② 脱水機を導入する考えは ③ 多目的更衣室は設置されているか (3) 飯田市民以外の利用者の利用料金を変更する考えは (4) 障がいがある方も安心して利用できる環境が整えられているか 3 難聴児の療育支援について (1) 現在の支援の状況は (2) 信州大学医学部附属病院や松本ろう学校に通う子どもの数は (3) 通院通学にかかる交通費の経済的負担に対する支援は (4) 補聴器や周辺機器の購入費及び修理費の更なる助成は (5) ロジャーの導入について ① 教育現場におけるロジャー使用の現状は ② 支援拡充の考えは
3	古 川 仁 (日本共産党) 【 30 分 】	1 市の保育について (1) 今年4月から全国的に本格始動した「こども誰でも通園制度」について ① 市では、モデル事業として、先駆けて行っていたが状況はどうか ア 事業所が子どもの状況を十分に把握できているか、また保護者の声は イ 保育士の確保も含め、安心・安全は確保できているか ウ 現在、行われている「一時預かり事業」との違いと現状は ② 「こども誰でも通園制度」に対する市の姿勢は

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	古 川 仁 (日本共産党) 【 30 分 】	(2) 保育園の給食について ① 給食に対する基本的な考えは ② 全国的にも令和9年度から給食事業の委託・民営化を進める動きがあるが市の考えは
4	小 平 彰 (新政いいだ) 【 40 分 】	1 人と動物が共生するまちづくりに向けた整備環境と市の役割について (1) 犬・猫などのペット飼育の実態と人と動物が共生するまちづくりは ① 少子高齢化や単身世帯の増加など、社会構造が変化する中で、犬・猫などのペットが市民生活に果たしている役割やその考えは ② 飯田市内において、犬及び猫を飼育している世帯数や飼育頭数は ③ ペットを家族の一員として考える市民が増えていく中、人と動物が共生できる生活環境を市が支援する考えは ア ドッグラン施設が少ない現状から市の既存施設などへ併設する考えは イ ペットに対する補助金制度の現状は ウ 更なる制度の拡充は (2) 野良猫に対する市の施策及び管理体制は ① 野良猫の現状及び課題認識は ② 野良猫の適正管理（TNR（捕獲・去勢・戻す）・給餌ルール・住民合意形成）に関する市の方針は ③ 野良猫対策における官民協働体制の構築は ④ 地域猫モデル地区の設定など試行する考えは
5	長 谷 部 春 生 (会派きぼう) 【 40 分 】	1 防災力強化に向けた取組について (1) 日常生活に近い避難所運営について ① 避難所となる学校体育館への空調の整備状況と学校・地域の声は ② ダンボールベッドや簡易ベッドの確保状況は ③ トイレの配置状況は (2) 飯田市の防災協定について

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	長 谷 部 春 生 (会 派 き ぼ う) 【 40 分 】	① 飯田市は民間も含めて多くの防災協定を締結しているが、その目的は ② 選定方法など協定締結に至るまでの手続は (3) 長野県は、防災局及び防災大学校（仮称）の設置を国に要望しているが、飯田市への設置の考えは 2 事業承継に向けた取組について (1) 事業承継の取組の目的は (2) 飯田商工会議所と連携した調査について ① 過去の調査結果とそれを踏まえた対応、その成果は ② 回答率を高めるための工夫は ③ 飯田商工会議所会員企業以外の事業者への調査は (3) 市民の声を反映した、地域に残ってほしい、残したい事業を見える化する仕組みについての考えは
6	岡 村 弘 子 (公 明 党) 【 40 分 】	1 子どもを取り巻く課題を社会全体で支える取組について (1) 子どもの不登校による親の就労に対する支援について ① 不登校をめぐる傾向や現状は ② 不登校の子どもの見守りや支援を必要とする家庭の割合は ③ 不登校による親の就労環境について現状は ア 子育てのための休暇制度や協力体制等を整備している企業はどれくらいあるか イ 自営型テレワーカー養成講座は不登校家庭の就労へ繋がっているか ウ 親の就労に対する支援をどう考えるか (2) 子どもの居場所について ① 学校に行きづらい子どもの相談窓口は ② 今の時代に合った周知方法をどのように考えるか (3) ラーケーションの取組について ① 共働き家庭の増加等による親子で過ごす時間の変化について、現状は

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	岡 村 弘 子 (公 明 党) 【 40 分 】	② 昨年度、やらまいか提言箱に投稿されたラーケーションに対する回答後の状況は ③ ラーケーション制度の導入は、親子が地域の価値や魅力に触れることに通ずると考えるが、市の見解は
7	岡 本 恒 和 (新 政 い い だ) 【 40 分 】	1 地域資源を編集した新たな価値化について (1) 農村起業家育成スクールの取組概要は ① 起業や事業計画を実現させるための市の関わりは ② 起業を目指す人材の発掘・育成の考えは (2) 地域資源の価値を飯田らしくより高めるためには ① 地域資源の新たな価値を創出するために「編集」が必要と考えるがどうか ② 「イイダのイイネ！」の取組の状況は ア 成果と課題認識は (3) 新たな価値を創出するための広域連携の考えは (4) 地域資源を生かした事業化や新たな価値づくりについて ① 地域資源の棚卸し・編集から新たな事業に結びつくような仕組みづくりの考えは ② 地域資源を生かした新たな価値づくりの考えは
8	片 町 元 彦 (会 派 き ぼ う) 【 50 分 】	1 飯田市の危機管理について (1) 南信濃和田地区火災を踏まえた課題認識について ① 今回の消火活動の連携・協力体制の評価は ② 消防水利の考え方について ア 防火水槽設置の基本的な考え方は イ 火災現場付近の消火栓、防火水槽、自然水利に対する認識は ウ 遠山川からの補・給水に関する課題認識は エ 遠山地区における耐震性防火水槽設置の整備に対する考えは ③ 二次出動の考え方について ア 二次出動範囲の基本的な考え方は

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	片 町 元 彦 (会 派 き ぼ う) 【 50 分 】	イ 二次出動に期待する役割は ④ 飯田市に隣接している町村との協力体制は (2) 個別避難計画と要介護者支援について ① 個別避難計画の作成状況は ② 中山間地域での避難生活が長期化した場合の要介護者への支援は (3) 情報通信基盤の強靱化について ① 遠山郷における大規模災害時の孤立リスクに対する情報伝達の考えは ア 昨年、遠山地区内で発生した防災行政無線の故障について、再発防止に向けた点検・整備の状況は イ 自治振興センターと本庁との通信回線が断線した場合の代替通信手段は ウ 衛星通信による情報通信体制の確保が必要と考えるが市としての考えは 2 しらびそ高原の振興について (1) 星空保護区認定に向けた進捗と今後の展開について ① ダークスカイ・インターナショナルへの申請状況及び認定取得の目標時期は ② 認定後は、観光振興・誘客戦略をどのように考えているか ③ 市民・事業者・学校等との協働体制、環境教育の可能性、今後の展開に向けた市のビジョンは
9	福 澤 克 憲 (会 派 き ぼ う) 【 40 分 】	1 安全安心な学校給食の提供について (1) 学校給食費に係る支援の考え方について ① 国制度「給食費負担軽減交付金」を受け、今後の保護者負担（小学校実質無償化）の考え方は ② R4年事業から適用されている「飯田市学校給食物価高騰支援事業補助金」の今後の考え方は ③ 就学援助費（小中学校）の認定状況は ④ 今後の方向性は (2) 学校給食の提供を継続するための施設整備について ① 丸山共同調理場の移転に係る影響は

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	福 澤 克 憲 (会 派 き ぼ う) 【 40 分 】	② (仮称) 飯田市西部共同調理場整備事業の進捗状況は ③ 配食校(配食数)の考え方は (3) 働きやすい職場環境の整備について ① 労働安全衛生委員会の開催状況と労災等(熱中症)の認定状況は ② 労働安全衛生法、労働安全衛生規則第606条、第612条の2等、法令上の観点から見た調理場職場の認識は ③ 矢高共同調理場の環境整備の考えは (4) 今後の方向性は
10	市 瀬 芳 明 (日 本 共 産 党) 【 40 分 】	1 未来を笑顔で語れる飯田市の平和行政について (1) 飯田市が考える「平和」について ① 市長は「平和なまち」をどう考えるか ② 「平和とは未来の話を笑顔でできること」という若者の言葉をどう受け止めるか ③ 若者が未来に希望を持てる地域社会をつくることも平和行政の役割と考えるがどうか (2) 非核平和都市宣言について ① 宣言から40年以上が経過した現在、その理念をどう市政に生かしているか ② 現在の国際情勢の中、非核平和都市としてどのように平和を発信しているか (3) 戦争の記憶の継承について ① 戦争体験者が減少する中、証言や資料をどのように記録・保存・継承していくか ② 飯田市平和祈念館や地域の戦争遺跡を、次世代の平和学習にどう活用していくか (4) 若者とともにつくる平和行政について ① ピースゼミの目的は ② 若者を含む市民と市長や教育長が平和や飯田市の未来を直接話し合う機会はあるか (5) これからの平和行政について

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	市 瀬 芳 明 (日 本 共 産 党) 【 40 分 】	① 「戦争の記憶を語り継ぐこと」と「若者が希望を持って未来を語れる社会をつくること」を、これからの平和行政の両輪として位置づけてはどうか
11	正 木 利 幸 (新 政 い い だ) 【 50 分 】	1 庁内D X推進について (1) 行政手続きのオンライン化について ① オンライン化で、今までのどのような課題が克服されるか ② オンライン化された書類の審査と持参された書類の審査の違いは何か ③ オンライン化されることによる業務の改善効果を職員全員が理解しているか ④ オンラインまたはe L T A Xなど、手続きが不慣れな人への窓口サービスや電話対応での業務増をどのように認識しているか ⑤ オンライン化の先にどのような未来を想像してD Xを推進していくか 2 ふるさと納税について (1) 2025年10月からポイント制が禁止されたが、その影響はあるか (2) 寄附額の伸び率はどのように推移しているか (3) 仲介業者の手数料は高いと認識しているか (4) ホームページを市で作成することを検討するか (5) 寄附額の増加に伴う職員の負担は (6) 返礼品競争が激化していることと、本来のふるさと納税の意義をどのように認識しているか (7) 返礼品に頼らない寄附方法を検討、実践しているか (8) 飯田市のふるさと納税の今後の方向性をどのように考えるか
12	松 岡 秀 治 (会 派 き ぼ う) 【 40 分 】	1 市民の健康について (1) 健康を維持するために必要なことは ① 過剰医療や医原病について ア 過剰医療や医原病をどう考えるか ② 予防接種について

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	松 岡 秀 治 (会 派 き ぼ う) 【 40 分 】	ア 定期接種が増えた理由は イ 努力義務とは ウ コロナワクチン接種後10日以内に亡くな れた市民が62名いたが、市としてどう受け 止めているか エ 新型コロナ流行後の本市の不登校の児童 数、生徒数の推移、またその原因をどう捉 えているか ③ 療育手帳、精神障害者保健福祉手帳所持者につ いて ア 直近10年の所持者数の推移は イ その原因をどう考えるか ④ 診療記録の保存が2年から5年と定められてい るが様々な検証や把握を行うためにも長期的な 視点で保存されることが市民にとって必要と考 えるが市の考えは ⑤ 将来の健康政策について市はどう考えるか
13	関 島 百 合 (会 派 き ぼ う) 【 40 分 】	1 小中学校水泳授業の民間委託について (1) 民間委託が進む理由は (2) 民間委託した水泳授業について ① 昨年度から回数が減少した理由は ② 移動時間の関係で、プールで過ごす時間は学校 によって異なるか ③ 寒い時期の実施をどう考えるか (3) 引き続き屋外の自校プールを利用する際の配慮は (4) 自校プールと民間プールで授業の内容や回数に違い が生じることはあるか (5) 学校のプール跡地をどのように活用するか 2 飯田市の人口減少について (1) 人口減少の現状について ① 人口減少への「適応」に対する考えは ② 地区と年代、性別でどのように分析しているか (2) 今後の公共施設、行政サービス等の在り方をどう考 えるか

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	関 島 百 合 (会 派 き ぼ う) 【 40 分 】	(3) 地区単位で考える人口減少と公共施設について ① 地区ごとの分析や資料を示す考えは ② 各地区への説明や意見交換の機会を設ける考えは (4) 人口減少への「適応」をどのように進めるか
14	水 月 レ イ (会 派 き ぼ う) 【 30 分 】	1 産後ケア事業について (1) 産後ケア事業の利用について ① 令和8年4月から、産後ケアの利用できる範囲が拡大されたが、利用状況は ② 妊産婦さんへの産後ケアの説明はいつどのようにしているか ③ 産後ケア利用の流れは現在どのようになっているか ④ 減免クーポンの申請及び利用方法は (2) 産後ケア事業の場について ① 産後ケア事業の場が増えることについて市の受け止めは ② 市として期待することは ③ 民間が行う産後ケア事業に対する市の支援体制はどのように考えているか 2 日本一の焼肉の街飯田市の取組について (1) 日本一の焼肉の街飯田市について ① 飯田市が日本一の焼肉の街と言われているが、市民に浸透していないと思う。市は何をもって日本一にしたいか ② 市外や県外から飯田市に焼肉を食べに来たくなるPRはできているか (2) 飯田市の焼肉月間について ① どのような事業を行ったか、またその効果は (3) ふるさと納税の返礼品について ① ふるさと納税の返礼品を、飯田市で焼肉が食べられる現地決済型電子クーポンとして取り入れてみたらどうか

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
15	野 崎 直 仁 (無 会 派) 【 40 分 】	1 持続可能な飯田市に向けてのインフラの維持・整備の在り方について (1) 国勢調査が示した飯田市の急激な人口減少について ① 飯田市は田舎暮らしの本の住みたい田舎ランキングで1位に選ばれているが、市民の感覚とは大きな乖離（かいり）があると思うがどうか ② 2050年に日本一住みたいまちになるための主だった施策にはどのようなものがあり、またそれが効果を上げていると考えるか ③ 飯田市の急激な人口減少を食い止めることは不可能ではないかと思うがどうか ④ 急激な人口減少下で現在あるインフラをこのまま維持することは不可能ではないかと思うがどうか ⑤ 上下水道事業は利用水量の減少からも現状のインフラを維持しては採算の悪化が避けられないと考えるがどうか (2) インフラの維持・整備に必要な健全な財政計画について ① 佐藤市政になってからは財政規模の拡大が続いているが持続可能性の観点からどう見ているか ② 積立基金の減少と市債の増加が続いているがこの件に関してはどうか ③ 2021年のウッドショックに端を発した建設費等の高騰が続いているがインフラの維持・整備に対する影響はどうか ④ 今後の飯田市において持続性を担保するためにはインフラを取捨選択していく必要があると考えるがどうか (3) スマートシュリンク（賢く縮む）の考え方に基づいた新たな都市計画とインフラの維持・整備のあり方について ① G I S（地理情報システム）を活用して地域ごとの人口予測と将来にわたるインフラの維持コストを可視化してみてもどうか ② 立地適正化計画等を利用して特定の居住区域への人口誘導を考えてみるかどうか ③ 急激な人口減少下では早急に都市構造をシュリンク（縮小）させることが必要と考えるがどうか